

西田守男 （現場）からの風

西田 守男

正式には、盂蘭盆会
という祖先の靈を祀
る一連の行事のお盆
だが、今年は新型コロ
ナウイルス感染防止か
らか、帰省ラッシュは

例年ほどではないようだ。祖先の靈を迎える行事だが、かつては太陰曆の7月15日を中心に行われていたが、明治期の太陽曆(新曆)の採用後、新曆の7月15日に合わせると農繁期と重なって支障が出る地域が多くなったため、新曆8月15日をお盆とする所が多くなった。

日本古来の祖靈信仰と仏教が融合した行事だが、全国一斉の盆期間の弊害を避け、過密を避けるべく、盆の在り方を、地方経済の活性化を視野に論議も可能なかこと考えてしま

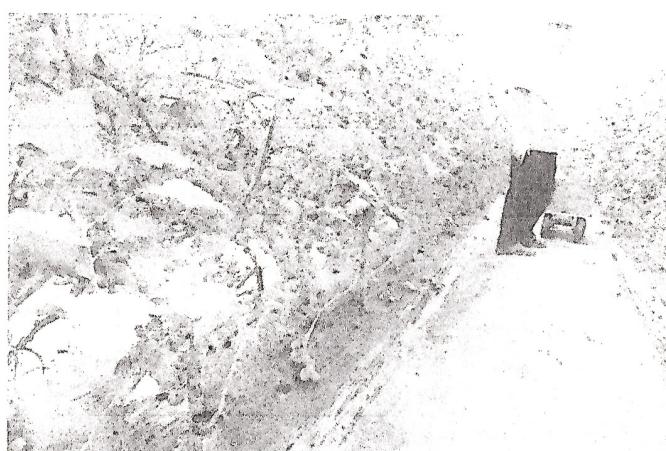
う。お盆まで、水稻の穂が出そろそろと言われているが、耕作条件の悪い圃場の穂はまだ出そろっていない。また「秋そぼ」は7月末か8月第1週までに播種できればと言われているが、雲天で思

お盆まで、水稻の穂が出そろそろと言われているが、耕作条件の悪い圃場の穂はまだ出そろっていない。また「秋そぼ」は7月末か8月第1週までに播種できればと言われているが、雲天で思

当たり前の伝統行事の在り方を見つめ直す事も大切だ

古希、77歳で
70歳で
一般的だ。

地元野菜を販売している野菜コーナーは、開店から活況だ。訪れるお客様が思わず「安い」との声。馬鈴薯は1kg652円との相場値が、200円。を筆頭に、キュウリやナスなども市場価格の半値以



白馬村の松沢正猛さん。地元に適する、強い耐病性の「リトルジェム」に熱意を注ぐ

下で、午前中にも完売

してしまった状況に、農家からは今年の不作を

恨むばかりだ。

歳を重ねる毎に、長寿のお祝いの呼び方に

関心を持つようになっ

てきた。60歳の還暦は満年齢だが、その他は

数え年が一般的だ。

「来稀」が由来だ。古来、七十まで長生きする者は、めずらしいと詠つたが、その歳を迎えてから生き方を改めて

考へなくてはと思ふ毎日だ。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)